

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ぐりーんバス運行事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	02	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	長橋 祐之				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	主に公共交通空白地域（駅徒歩圏外地区）の市民	意図	交通不便地域の市民に対し、最寄り駅との交通手段を確保することで交通利便性の向上を図る。
事業内容	ぐりーんバスの路線設定、ダイヤの管理を行う。また、既存路線についても利用の向上が図られるよう必要な対応・工夫を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年8月のつくばエクスプレス開業により市内公共交通体系の変化及び路線バスが再編成されたことから、既成市街地と駅を結ぶぐりーんバスを導入しており、現在、6路線の運行を行っている。今後、事業の需要予測及び費用対効果等を考慮しながら、段階的に整備を進めていく。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	利用者数（年間）	736,328	848,223	909,798		人
②	1日当たり利用者数	2022.90	2330.28	2499.44	人	↑↑↑		
③	路線数	5	6	6	路線	↑↑↑		
④	停留所設置数	93	103	104	ヶ所	↑↑↑		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成30年度は、平成29年度から運行が開始された「南流山・木ルート」において、利用者数が増加したため、ぐりーんバス全体の利用者数もまた増加したと考えられる。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		54,445,175	70,136,247	64,466,615				
事業費(b)(円)		44,147,675	60,873,687	55,369,655				
うち一般財源		44,147,675	60,873,687	55,369,655				
職員給与費(c)(円)		10,297,500	9,262,560	9,096,960				
人役・職員(人)		1.50	1.38	1.38				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・平成29年度から運行開始を開始した新規路線を含め、バスの利便性向上と利用促進に努める。	③取組における課題(Check)	・ルートによっては利用者数が減少している。 ・バス路線開設の要望がある一部地域において、収支率の観点から路線開設を見送っている。
②H30に実施した取組(Do)	・南流山・木ルートにおいて、利便性向上のためのルートの見直しを行った。 ・沿線自治会に対してバス利用促進の案内を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・各ルートの利用状況を鑑みて、経路変更及び増車の検討を行い、利便性向上と利用促進に努める。